



創価大学

Discover your potential  
自分校の発見



図書館報

2014 SPRING vol.25

# SEASON



ISSN 1349-3760



新図書館長就任あいさつ



図書館指針制定十周年記念展示会



図書館書簡





## 新図書館長就任あいさつ

創価大学附属図書館長 前田 清隆

経営学部 教授

本年4月に図書館長の任を拝しました前田と申します。実務に精通した図書館スタッフと力を合わせ、教員、院生、学部生、通教生、保護者、地域の皆さんにさらにご利用いただける図書館を目指し、運営してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

私は通学課程の1期生として1971年4月から75年3月まで経済学部在学していました。開学当時は、ブロンズ像のあるラーニング棟の東端に「図書館」(図書室)が設けられ、利用したことを思い出します。その後、78年3月17日に中央図書館の開館式が行われ、施設も拡張して、現在では

100万冊を超える蔵書をもつ、大学が誇る「知の宝庫」・「知の殿堂」になっていきます。開学時に比べると施設も蔵書も隔世の感があります。図書館長に就任したことを機に、一日、時間を気にせず、携帯電話の電源を切つて、図書館の書物やビデオ、DVD、CD、マイクロ資料などの視聴覚資料の中に浸ろうと計画し、ワクワクしています。

かつて大東文化大学の安世舟(やす せいしゅう)名誉教授が書評で述べられました。「後世の史家は、池田会長を何百年に一人出るか出ないかの偉人と見ることは間違いなからう」と。

本学は、池田先生を創立者と仰ぎ、中央図書館には創立者からご寄贈いただいた7万冊に及ぶ貴重な「池田文庫」が設置されています。これらは図書館の重宝であり、私たちは身近に創立者の若き日の読書に触れることができず。何とすばらしいことではありません。

2004年1月22日の創立者の中央図書館訪問より10周年を迎えました。その際頂戴した指針を学ぶため「図書館指針制定10周年記念展示会」を開催しています。どうぞ多くの皆さんのご来館をお待ち申し上げます。

### 前田 清隆(まえだ きよたか) プロフィール

1973年 公認会計士第2次試験合格  
 1975年 創価大学経済学部経済学科卒業  
 1975年 クーパース・アンド・ライブランド公認会計士事務所勤務(～1982年)  
 1981年 米国公認会計士試験合格  
 1985年 創価女子短期大学経営科就任  
 1991年 創価大学経営学部経営学科就任  
 2004年 国家試験研究室長就任(～2006年)

2006年 経営学部長就任(～2014年)  
 主な著書  
 『新講・簿記原理』『ビッグ・バン後の会計学』(創成社)  
 『現代養簿記』(中央経済社)、『会計学』『原価計算論』(創価大学出版会)  
 『経営分析と経営情報』(共著・同文館) など



# 創価大学 図書館指針 制定 10周年記念展示会



⑦



⑧

3月17日から中央図書館で図書館指針制定十周年記念展示会を開催しています。

今年は、2004年1月22日に創立者池田大作先生が中央図書館にご来館されて10年の節目に当たります。ご来館された際に創立者は、その場に居合わせた学生たちを激励され、数々の箴言を贈られました。その箴言は未来にわたる図書館の原点となり、図書館指針として永遠に刻まれるものになりました。

会場では創立者が青年時代に研鑽された図書や、恩師戸田城聖先生からさまざまな講義を受けた際に用いられた教科書、世界各国の識者との対談集や著作など創立者に関連する書籍を、創立者のスピーチや時代背景などの解説を交えて展示しています。また、DVDの上映コーナーも設置。創立者が来館された当時の様子をご覧ください。

図書館指針制定十周年記念展示会は5月4日までの開催となっています。



①



②



③



④



⑤



⑥

①：記念展示会入口 ②：創立者の激励に応えたいとの思いから生まれたSOKA BOOK WAVEの歴史を紹介 ③：創立者がご来館された時の映像を上映 ④：創立者が研鑽した図書を紹介する「若き日の読書」コーナー ⑤：創立者と世界の識者との対談集や著作のコーナー ⑥：創立者のスピーチやメッセージで引用された図書のコーナー ⑦：創立者の恩師戸田城聖先生より薫陶を受けた「戸田大学」で用いられた教科書 ⑧：創立者に贈られた、著者サイン入り図書の展示コーナー



いよいよ新年度が始まりました。新入生の方、ご入学おめでとうございます。おそらく、これからの学生生活への期待と不安を胸にキャンパスに毎日通われていることと思います。一方、年度替わりのこの時期に、様々な目標を掲げた方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。中には「今年の本を○冊読む!」「勉強に励みたい!」と意気込んでいる方もいることでしょう。

そんな方たちのために今号のSEASONでは「私が勧めるこの一冊」と題して、各学部の先生方にご協力をお願いして、学生の皆さんに是非とも読んでもらいたい図書をピックアップしてもらいました。

今回は法学部と、昨年到新設されたばかりの看護学部の先生から推薦された図書をご紹介します。

# 私が勧める1冊。

法学部

小島信泰 教授

『法とは何か―法思想史入門―』

長谷部恭男著

河出書房新社

人はなぜ法に従わなければならないのか。国家権力がそれを強制するからだろうか。それとも法は正義にかなっているからだろうか。本書は、国家の権威はどこから生まれるのか、そして先人たちは法をどのように考えてきたのかを歴史を通して考えていく。法がない社会は考えられないが、では私たちは法とともにいかに生きるべきなのであろうか。また法が機能するためにはいかなる条件が必要なのであろうか。本書では、現代日本を代表する憲法学者がこの大きな問題に挑戦している。



私たちの先生は子どもたち!

Grief Care  
子どもの悲嘆をサポートする本



看護学部  
佐藤美香 講師

『私たちの先生は子どもたち! 子どもの Grief (悲嘆) をサポートする本』

細谷亮太監修

Linda Espiri 著

下稲葉かおり訳

青海社

「愛するものとお別れをする子どももの悲しみ、そばにいるあなたは どうしますか?」

私が新人看護師として小児病棟で勤務していた頃、血液のがん「白血病」の寛解(白血病細胞がほぼ消失した状態)率は、6割未満でした。多くの子どもたちは、病氣と闘いながら自分の死期を感じ、友だちや家族とお別れをしてきました。その傍ら、自分の無力さで子どもたちのメッセージを受け止めるができない時期がありました。その後に出会ったのが、「私たちの先生は子どもたち! Grief care」です。Grief (悲嘆) は誰もが抱く感情で、その Care は相手を想うことから始まります。人に、自分に優しくなれる一冊です。

法学部教授

白石正樹 教授

『社会契約論―ホッブズ、ヒューム、ルソー、ロールズ』

重田園江著

筑摩書房

かつて人々が当時の時代背景からこの思想を読み解いたように、今、この現在の状況から、新たに社会契約論を読み解き、読者にその魅力を示さなければならぬ。そのために、著者は、社会契約論を「約束の思想」として読む。何もなかったところに、人々が集まり、約束する。これが秩序生成の瞬間であり、これまでとは全然違う世界が広がる。本書はトーマス・ホッブズからジョン・ロールズに至る契約論を新しい視点から解説しようとする好著である。

# 入庫講習会日程

**入**庫講習会は、書庫に入る資格「入庫資格」を取ることができる講習会です。書庫は資料の宝庫です。日頃の学習・研究に大いに役立ちます！学部生・短大生の皆さんの参加をお待ちしています。

お申込みは4月28日(月)から図書館ホームページで受け付けています。

## 第一回

5月 12日 (月)  
13日 (火)  
14日 (水)  
15日 (木)  
16日 (金)

## 第二回

6月 16日 (月)  
17日 (火)  
18日 (水)  
19日 (木)  
20日 (金)

## 第三回

7月 7日 (月)  
8日 (火)  
9日 (水)  
10日 (木)  
11日 (金)

第四回～六回の入庫講習会は秋に開催予定です。



# 図書贈呈会

**今**年も学内利用者限定の図書贈呈会を行います。6月9日(月)から6月13日(金)に、A棟旧AVライブラリーでの開催を予定しています。詳細は後日、図書館ホームページでお知らせいたします。